

新型コロナワクチン メリット/デメリット

メリット：新型コロナウイルスの感染、発症、重症化を予防します。

自分のために

中高生が感染した場合はほとんどが「軽症」とはいつても、肥満や基礎疾患があるとそれなりに重症化することもあります。一度治癒してからMIC-Sという(川崎病に似た)病気を発症し、入院が必要となることもあります。また軽症でもその後長期間にわたり「Long COVID」と呼ばれる後遺症が残ることがあります。この場合、息苦しさ・起き上がれないような倦怠感・集中できずに脳に霧がかかったような「brain fog」と呼ばれる状態が何ヶ月も続きます。これに対する治療はまだ確立されていません。



中できずに脳に霧がかかったような「brain fog」と呼ばれる状態が何ヶ月も続きます。これに対する治療はまだ確立されていません。

家族や身近な人のために

増殖力や感染力がパワーアップしている変異株が主流になってきてから、中高生の親世代の年齢層も重症化するようになってきました。自分は感染しても大したことなく終わったとしても、同居の親や祖父母に感染させてしまうと、重症化してしまう可能性が十分にあります。こういった年代の人たちを守るため、またワクチンを打てない小さな弟や妹を守るためには、周りにいる人たちがみなワクチンで感染を予防することが大切です。

社会が免疫をもつ：「集団免疫」のため

「日常」を取り戻すためには、早く社会全体が免疫を持つことが重要です。みんなが罹患することでも達成はできますが、入院や集中治療が必要になり医療が逼迫してまいります。ワクチンであれば入院数をほとんど増やさずに集団免疫を得られます。

デメリット：ワクチンの副反応を含めた「体調不良」が、おこりえます。

◎mRNAを保護する成分PEG(ポリエチレングリコール)に対してアレルギーがある人は、ワクチン接種後短時間で咳や呼吸困難、全身蕁麻疹、血圧低下等の**アナフィラキシー**を発症することがあります。過去の予防接種や下剤、化粧品などで重篤なアレルギー反応の経験がある人は、アレルギーのかかりつけ医にご相談下さい。何らかのアナフィラキシー歴がある人は「接種後30分待機(通常15分)」が推奨されます。

◎接種翌日の**腕の痛み**は殆どの人、**発熱/頭痛/倦怠感**のいずれかも多くの人に起こります。数日で自然によくなるので心配する必要はありませんが、つらい時は日頃使っている鎮痛解熱剤をお使いください。

◎ごくまれに、若い男性に軽い心筋炎/心膜炎を発症することがあります。症状としては、**動悸、胸痛、息切れ**などです。これを発症した場合は入院して注意深く経過観察、必要があれば循環動態をサポートする治療をおこないます。なお新型コロナウイルスに感染しても若い男性は2.3%の頻度で心筋炎/心膜炎を発症しており、ワクチンで発生した頻度(ファイザー:0.006%、モデルナ:0.0005%)を大きく上回ります。

◎接種時の**過度の緊張からおこる、動悸、失神、過呼吸**が起きる場合があります。朝礼などで倒れたり、嫌な物を見ると気分が悪くなりやすい人、過去に過換気発作を起こしたことがある人、不安の強い人等は信頼できるかかりつけ医のところで、不安なことを相談してから、納得して接種を受けましょう。

◎接種時にドキドキしたり失神した、注射の痛みや副反応の症状が思ったより辛かった、さらに誤情報による心理的なストレスなども加わり、**脱力や麻痺**などのストレス反応性の症状がおこることがあります。これらの防止のために、中高生は特に「ワクチンの仕組み・メリットとデメリット」をよく理解し、納得した上で接種を受けることが重要です。また、「緊張により倒れたことがある」などで心配な人は、かかりつけ医のところで「予め横になった状態でワクチンを接種」といった対応もできますので、ご相談下さい！

